

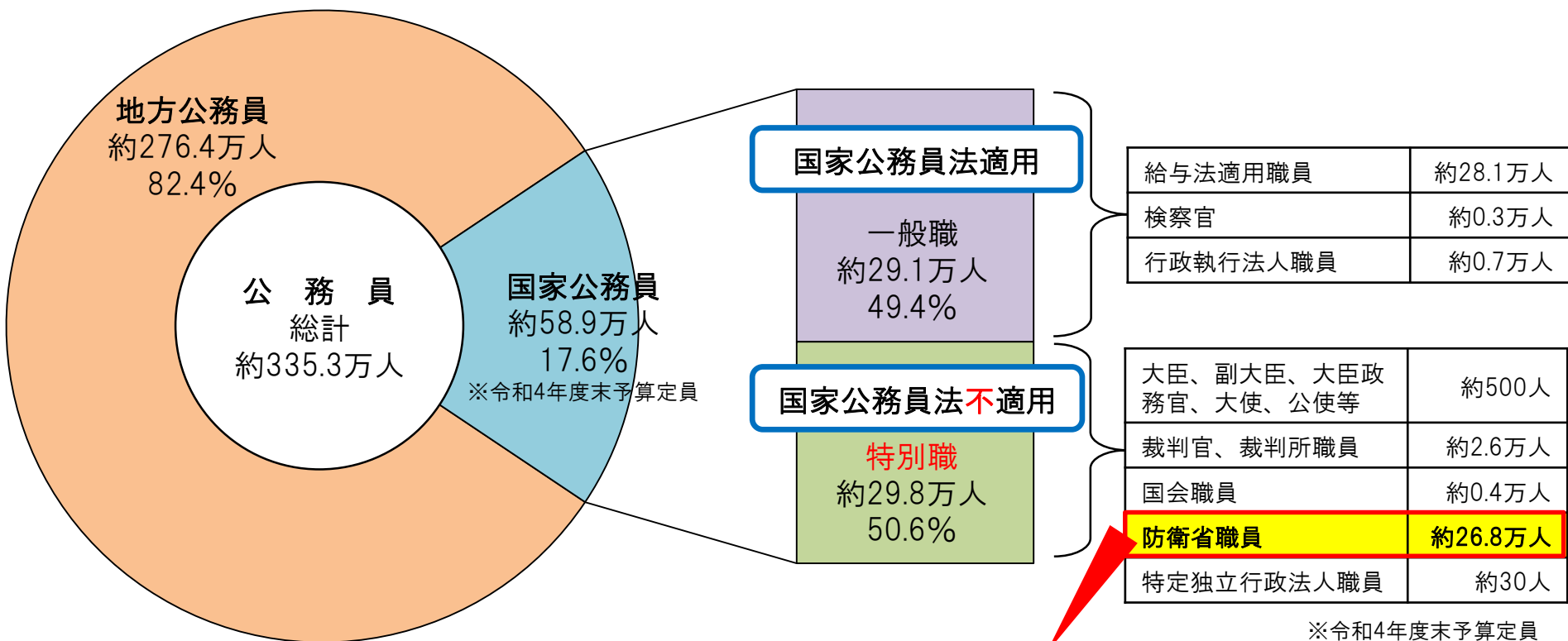
自衛官の人事・給与制度の概要 人的基盤を取り巻く状況の変化

令和5年2月
防 衛 省

自衛官の人事制度の概要

自衛隊員の位置づけ

防衛省職員の定員 ⇒ 国家公務員全体の約46% (自衛官 約42%)



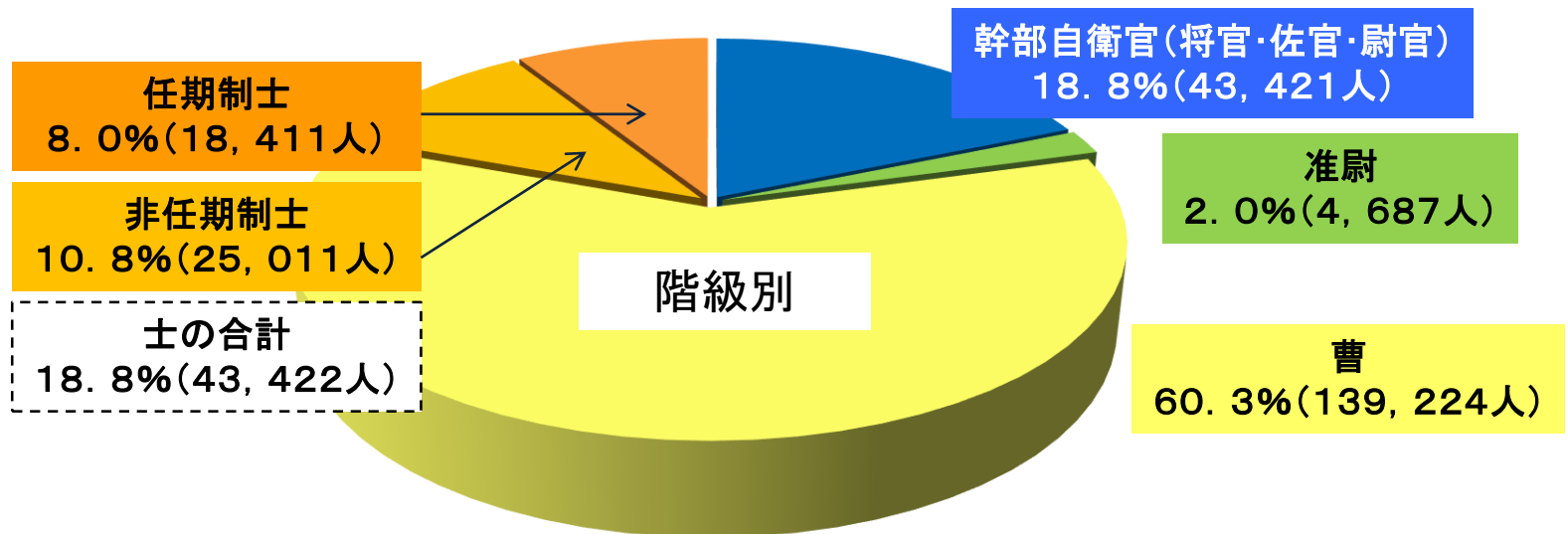
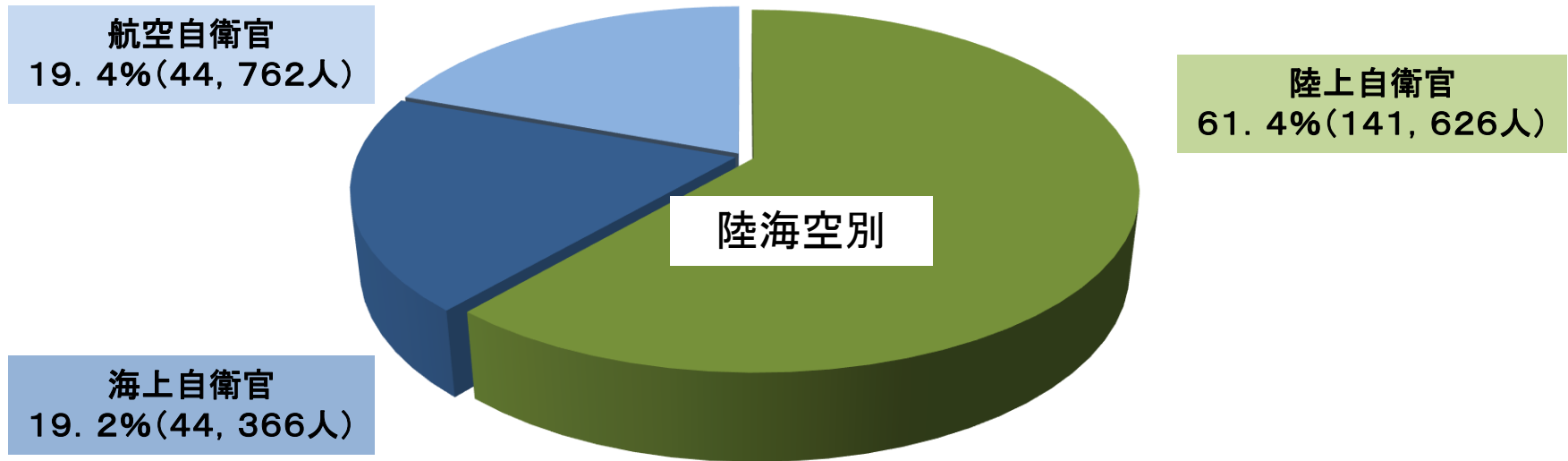
※令和4年度末予算定員

省庁名	定員	省庁名	定員	省庁名	定員	省庁名	定員
財務省	72,314人	厚労省	23,771人	外務省	6,504人	文科省	2,137人
法務省	55,026人	農水省	19,668人	経産省	5,119人	環境省	2,019人
国交省	51,501人	内閣府	15,370人	総務省	4,757人		

自衛官	約24.7万人
事務官等	約2.1万人

職務の性質上、一般職とは別に独立して人事管理（自衛隊法及び防衛省の職員の給与等に関する法律等で、人事・給与等を規定）

自衛官の現員は、約 23 万人（令和 3 年度末現在：230,754 人）



自衛官の階級・年齢構成

区分	自衛隊					
	陸自	海自	空自	定年年齢 (現状)	R5.10.1 (予定)	R6.10.1 (予定)
将官	陸将	海将	空将	60歳	60歳	60歳
	陸将補	海将補	空将補			
佐官	1等陸佐	1等海佐	1等空佐	57歳	57歳	58歳
	2等陸佐	2等海佐	2等空佐	56歳	56歳	57歳
	3等陸佐	3等海佐	3等空佐			
尉官	1等陸尉	1等海尉	1等空尉	55歳	56歳	56歳
	2等陸尉	2等海尉	2等空尉			
	3等陸尉	3等海尉	3等空尉			
准・曹	准陸尉	准海尉	准空尉	54歳	54歳	55歳
	陸曹長	海曹長	空曹長			
	1等陸曹	1等海曹	1等空曹			
	2等陸曹	2等海曹	2等空曹			
	3等陸曹	3等海曹	3等空曹			
士	陸士長	海士長	空士長	—	—	—
	1等陸士	1等海士	1等空士			
	2等陸士	2等海士	2等空士			

非任期制 自衛官

定年年齢まで勤務する自衛官

若年定年制 自衛官

事務官等の定年年齢が60歳であることと比較して、それより若年で定年を迎える自衛官

非任期制自衛官 ／任期制自衛官

一定の任期が満了することで退職することとなる自衛官

注：1 各幕僚長の職にある陸将、海将又は空将である自衛官の定年年齢は62歳

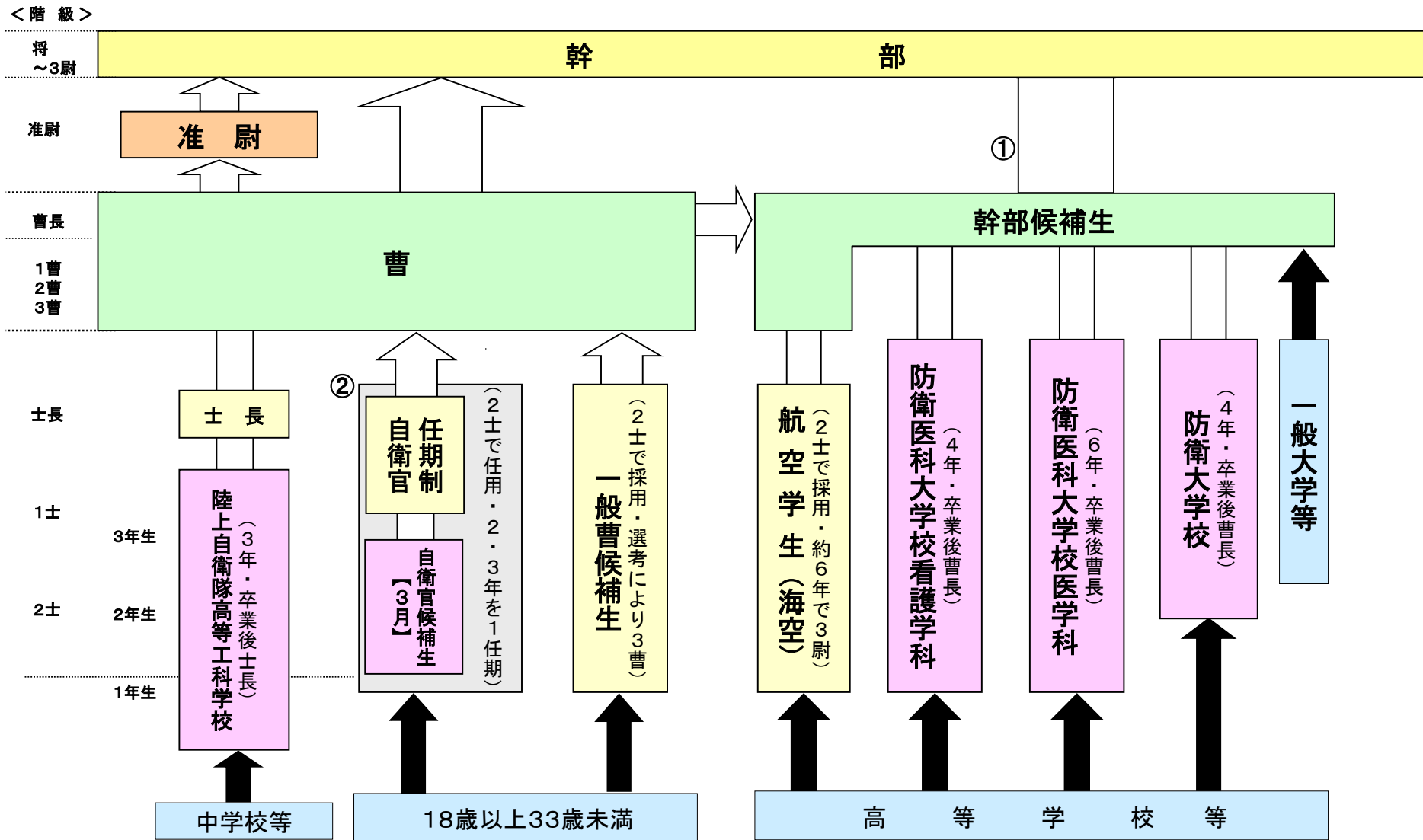
2 医官、歯科医官、薬剤官、警務官、音楽職種、情報分析等の業務に従事する1佐以下の自衛官の定年年齢は60歳

自衛官の定年年齢の変遷

	S29	S38	S45	S49	S54	S55	S56	S57	S58	S59	H2	H5	H6	H7	H8	R2	R3	R4	R5 予定	R6 予定
将	58歳										60歳									
将補	55歳									56歳	60歳									
1 佐	53歳					54歳				55歳				56歳			57歳			58歳
2 佐	50歳				51歳		52歳		53歳	54歳				55歳			56歳			57歳
3 佐	50歳				51歳		52歳		53歳	54歳					55歳		56歳			57歳
1 尉	48歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳			56歳	
2 尉	45歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳			56歳	
3 尉	45歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳			56歳	
准尉	—	—	50歳		51歳		52歳		53歳			54歳				55歳			56歳	
曹長	—	—	—	—	—	51歳		52歳		53歳			54歳			55歳			56歳	
1 曹	45歳	50歳				51歳		52歳			53歳		54歳			55歳			56歳	
2 曹	40歳	45歳		50歳							53歳							54歳		55歳
3 曹	40歳	43歳		50歳							53歳							54歳		55歳

旧軍	大將	中將	少將	大佐	中佐	少佐	大尉	中尉・少尉
定年年齢	65歳	62歳	58歳	55歳	53歳	50歳	50歳	46歳
自衛官		将	将補	1 佐	2 佐	3 佐	1 尉	2 尉・3 尉

自衛官の任用区分



- (注) ① 所定の教育訓練を修了したものは、通常3尉に昇任するところ、一般大学等の修士課程修了者のうち院卒者試験により入隊した者、並びに、防衛医科大学校医学科学生及び歯科・薬剤科幹部候補生については、国家試験に合格した者は、2尉に昇任。
- ② 任期制自衛官の初期教育を充実させるため、平成22年7月から、入隊当初の3ヶ月間を非自衛官化して、定員外の防衛省職員とし、基礎的教育訓練に専従させることとした。
- : 採用試験 ⇨ : 試験又は選考 □ : 非自衛官(定員外)

自衛官等の入隊・退職状況（令和3年度）

入隊者数（注1）

区 分	入隊者数
自衛官候補生	5, 350名
一般曹候補生	6, 450名
航空学生	150名
一般幹部候補生	333名
防衛大学校学生	488名
防衛医科大学校（医学科）	83名
防衛医科大学校（看護学科）	75名
高等工科学校生徒	341名
その他（注2）	57名
合 計	13, 327名

注1：「入隊者数」は令和3年度における採用試験による入隊者数である。

注2：その他は、医科・歯科幹部、歯・薬幹候、技術幹部、技術曹、貸費学生である。

退職者数（階層別）

区 分	退職者数
幹 部	1, 488名
准 尉	748名
曹	4, 530名
士	6, 673名
合 計	13, 439名

退職者数（理由別）

区 分	退職者数
定 年 退 職 ^(注3)	4, 815名
任 期 満 了	2, 882名
中 途 退 職	5, 742名
合 計	13, 439名

注3：応募認定退職、事務都合退職、傷病退職を含む。

諸外国軍隊の定年年齢

定年年齢について、我が国は、終身雇用という前提で、その年齢に達するまで勤務することが基本という考え方であるのに対し、他国ではその階級で勤務することが可能な上限年齢という意味に過ぎず、実際には昇任試験に合格しない等の理由で、これより若い年齢で除隊するケースが多くみられる。

階級	自衛隊	階級	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	オーストラリア				
将	62・60歳	大将	64歳	55～60歳	63歳	62～65歳	63歳				
将補	60歳	中将					60歳				
		少将						62歳	59歳	61～62歳	
1佐	57歳	准将	59～62歳								
2佐	56歳	大佐			上級大尉 59～62歳						
3佐		中佐				大尉 56～62歳					
		少佐									56～62歳
1尉	55歳	大尉									
2尉		中尉						58歳			
3尉		少尉	52歳								
准尉		准尉			47歳						
曹長		曹長				55～62歳					
1曹	軍曹	55～62歳									
2曹	伍長			55～62歳							
3曹							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									
				55～62歳							
							55～62歳				
			55～62歳								
					55～62歳						
						55～62歳					
		55～62歳									

※ この表の定年年齢は標準であり、医官、音楽職種、その他特別の配置によって特例がある。
 出典：防衛省による各国国防省等への調査（令和3年、平成25年）

自衛官の給与制度の概要

自衛官の給与制度の概要

- ・ 自衛官の給与制度は、所管法律である防衛省の職員の給与等に関する法律を基本法とし、自衛官の任務の特殊性を考慮して独自に規定
- ・ 給与は、「俸給」「諸手当」「現物給与」「退職手当」で構成
- ・ 自衛官も公務員であるため、民間準拠を基本とする一般職の給与を参考にすることで信頼性・公正性を確保しつつ、自衛隊の任務の特殊性を考慮した独自の各種手当等を設定

俸給			○常時勤務態勢等の任務の特殊性を踏まえ、超過勤務手当相当分を繰り入れた独自の俸給を支給 自衛官俸給月額（注） 公安職俸給表（一）の月額 警察官・皇宮護衛官・刑務官等に適用される俸給表 超勤 相当分 約10%上乘せ （21.5時間相当） ○一般の国家公務員は職務に応じた俸給表が適用されるが、自衛官は階級に応じた俸給表を適用 ○俸給水準は、毎年的人事院勧告に準じた改定が基本
諸 手 当	自衛官 の 手 当	配置 手当	○職務の複雑・困難性が高く、勤務条件が著しく特殊な配置に就く隊員に、俸給水準を調整する月例給として支給（例）特殊作戦隊員手当・乗組手当・航空手当 等（次頁参照）
		特殊勤務 手当	○著しく危険、困難な勤務に従事した場合に、その都度、日額等を支給（例）災害派遣等手当・対空警戒対処等手当・海上警備等手当 等（次頁参照）
	一般職と同様の 手当		○ボーナス（期末・勤勉手当）、扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当等
現物給与			○駐屯地内に居住する自衛官や災害派遣に従事する自衛官等に対し食事を無料支給 ○制服等を無料で支給又は貸与 ○自衛隊病院等において自己負担なく受診
退職手当			○定年退職した場合、最大で俸給月額の約4.7月分の額＋在職期間中の階級に応じた調整額を支給（一般職と同様） （※）具体的な支給額の例：2佐→約2,600万円、1尉→約2,300万円、曹長→約2,000万円 ○任期制自衛官が任期満了で退職した場合には、特例の退職手当を支給

（注）イメージ図は2佐以下の例であり、1佐及び将補(二)は行政職俸給表(一)をベース。なお、将及び将補(一)は、事務次官、局長等に適用される指定職俸給表と同額。

自衛隊独自の手当例

職務の複雑・困難性が高く、勤務条件が著しく特殊な配置には**配置手当**を支給（下記はその一例）

陸自 特殊作戦隊員手当

※ 中堅幹部自衛官（40歳）の例（戦闘機操縦士は人事管理が異なるため階級は2佐とした。）

（単位：円）

水陸機動団の洋上潜入特技の隊員（階級初号俸×33%）

（2尉40歳の場合）



俸給月額	特殊作戦隊員手当	扶養手当	月給	年収
371,700	85,602	16,500	473,802	7,411,425

海自 乗組手当

護衛艦の乗組員（俸給月額×33%）

※1 警戒監視活動に10日間従事した場合
※2 20日間の航海を実施した場合

（2尉40歳の場合）



俸給月額	乗組手当	扶養手当	海上警備等手当※1	航海手当※2	月給	年収
371,700	122,661	16,500	11,000	15,000	536,861	8,167,963

空自 航空手当

戦闘機操縦士（階級初号俸×80%）

（2佐40歳の場合）



俸給月額	航空手当	扶養手当	月給	年収
447,100	254,354	16,500	717,954	10,856,926

上記の他、著しく危険、困難な勤務には**特殊勤務手当**を支給（下記はその一例）

手当の名称	対象業務例	手当額
災害派遣等手当	大規模な災害が発生した場合において行う遭難者の救助等の業務	日額 1,620円又は3,240円
	原子力災害又は特定大規模災害が発生した場合において行う遭難者救助等の業務	日額 42,000円又は6,480円の範囲内
対空警戒対処等手当	弾道ミサイル等対処時に屋外に展開して行う業務等	日額 1,100円
海上警備等手当	海賊行為から航行中の船舶を防護するために海外の地域において行う業務	日額 400円～4,000円
	自衛艦に乗り組んで行う我が国の防衛に資する情報収集業務のうち困難なもの	日額 1,100円
	中東地域において行う日本関係船舶の安全確保に資する情報の収集に関する業務	日額 840円～4,000円

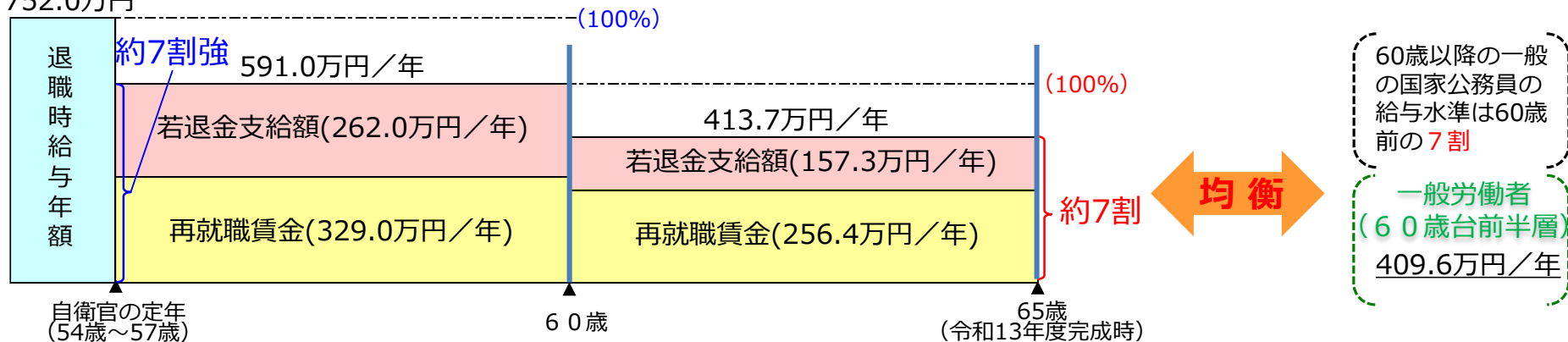
若年定年退職者給付金制度について

■ 制度の概要

項 目	概 要
目 的	○未だ出費のかさむ50歳代で退職を余儀なくされる若年定年制から生ずる不利益を補うための政策的給付
支給対象者（原則）	○自衛官として20年以上勤続し、若年定年退職した者
支 給 額	○自衛官の若年定年年齢と一般の国家公務員の定年年齢（現行60歳）との差1年につき、退職時俸給月額の6か月分を支給 ○なお、令和5年度からの一般の国家公務員の段階的定年年齢引き上げ（2年毎に1歳引上げ（令和13年度完成））に伴い、60歳以降の給付は、一般の国家公務員及び一般労働者の給与水準を踏まえ、60歳と一般の国家公務員の定年年齢との差1年につき、退職時俸給月額の3.45か月分を支給

※給付水準のイメージ

752.0万円



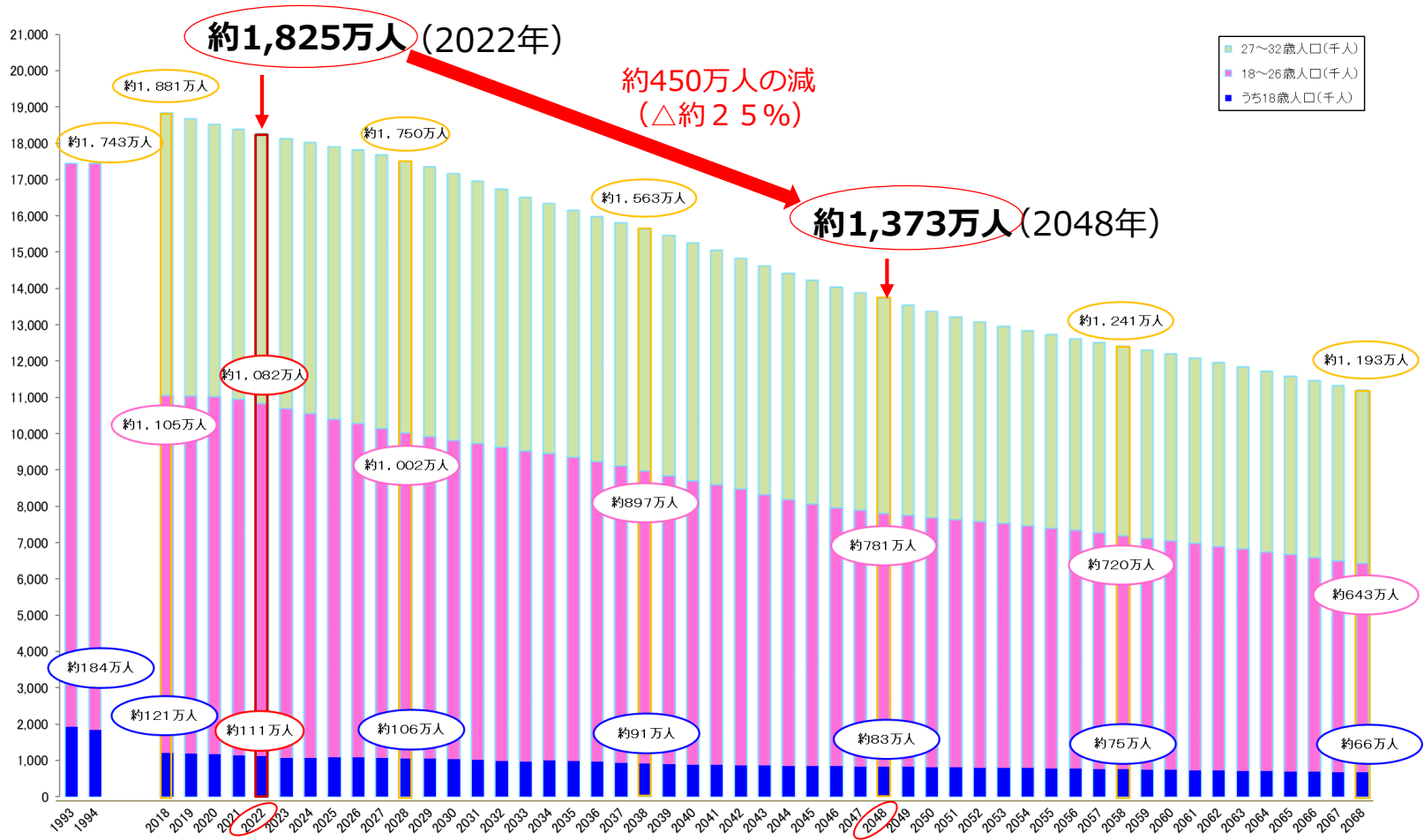
(注)イメージ図は全階級平均のものであり、60歳までの再就職賃金・若退金支給額は支給実績に基づくもの（平成29年度）、60歳以降の再就職賃金は実態調査等に基づくものである。

- 60歳までは、再就職賃金と併せて退職前の給与の約7割強の生活が平均的に維持できるよう若退金を支給。
- 60歳以降は、同年齢の民間賃金や一般の国家公務員の給与水準を踏まえ、再就職賃金と併せた額が、60歳までのものの約7割となるよう若退金を支給。

人的基盤を取り巻く状況の変化

募集対象者人口の推移

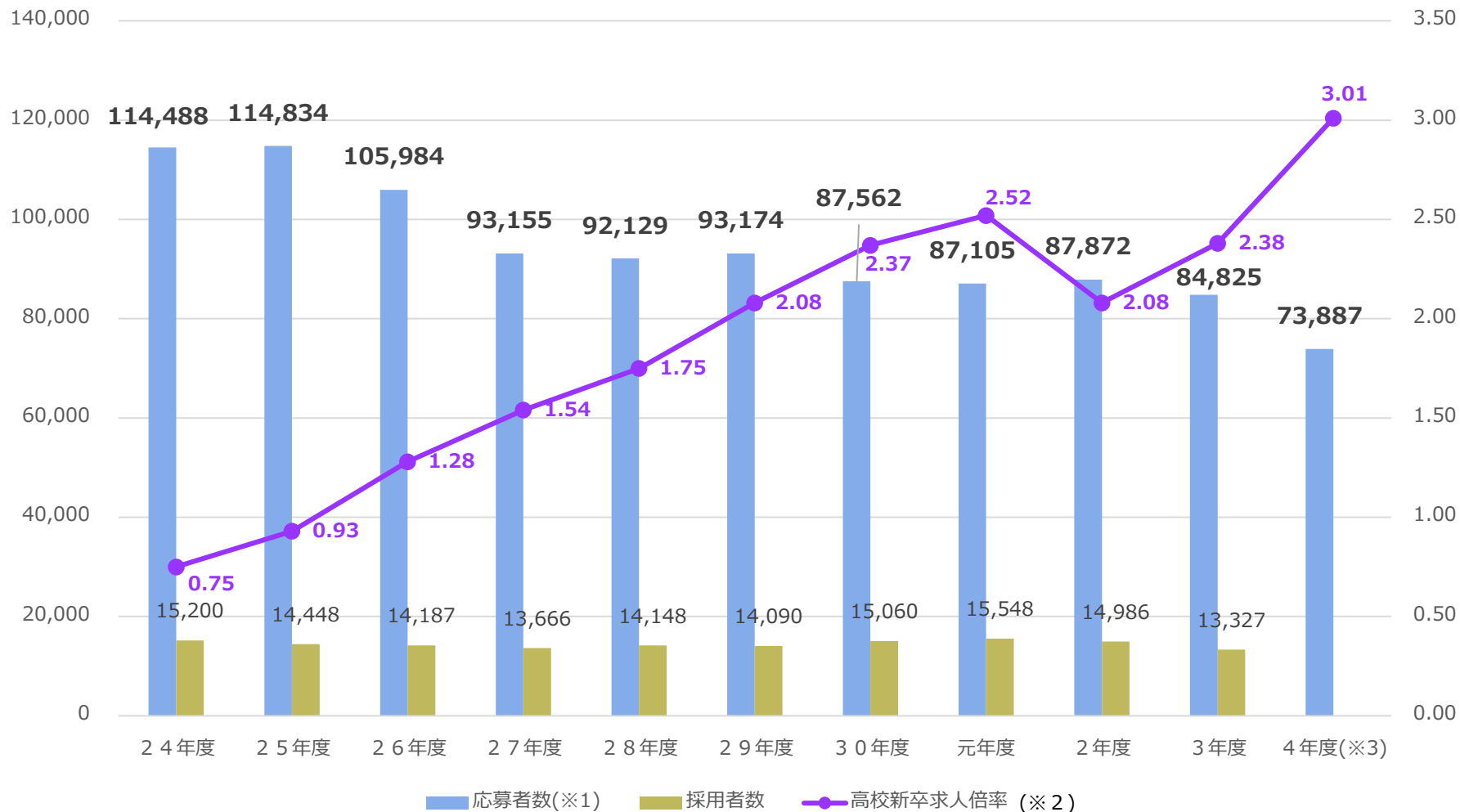
- より幅広い層から多様な人材を確保するため、平成30(2018)年に、一般曹候補生及び自衛官候補生の 採用上限年齢を27歳未満から33歳未満に引き上げ。
- 他方、少子高齢化の進行により、募集対象者人口は、令和4(2022)年度から令和20(2038)年度までに約260万人(約14%)、令和30(2048)年度までに約450万人(約25%) 減少する見込み。



【資料出典】平成5(1993)年度及び6(1994)年度は、総務省統計局「我が国の推計人口(1920年~2000年)」及び「人口推計年報」による。
 平成30(2018)年度以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29(2017)年4月の中位推計値)による。

自衛官等の応募者数の推移

- 少子化等の影響により、自衛官等の応募者数は減少傾向にあり、平成24年度から令和3年度までの10年間で、応募者数は約26%（約30,000人）減少。
- 令和4年度の高校新卒求人倍率は、バブル期（平成3年度の3.08倍）並みの水準まで上昇。



※1 複数の試験種目を併願する者がいるため、応募者数については延べ人数

※2 出典：厚生労働省「令和4年度高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職状況取りまとめ」

※3 令和4年度の実応募者数は、令和5年1月15日現在

自衛官候補生及び一般曹候補生の採用状況

自衛官候補生の採用状況

	採用計画数	応募者数	採用者数	計画達成率
平成21年度	2,556	21,055	2,321	91%
平成22年度	4,050	23,158	5,180	128%
平成23年度	4,047	23,968	4,309	106%
平成24年度	9,024	34,038	9,963	110%
平成25年度	8,379	33,534	9,188	110%
平成26年度	8,595	31,361	8,239	96%
平成27年度	8,989	28,137	7,838	87%
平成28年度	7,981	29,067	7,610	95%
平成29年度	9,404	27,510	7,513	80%
平成30年度	9,882	28,145	7,075	72%
令和元年度	7,505	28,844	7,359	98%
令和2年度	6,280	28,903	6,664	106%
令和3年度	6,190	28,272	5,350	86%
令和4年度 (※)	9,245	22,638	—	—

一般曹候補生の採用状況

	採用計画数	応募者数	採用者数	計画達成率
平成21年度	6,023	43,639	4,176	69%
平成22年度	4,410	47,907	4,234	96%
平成23年度	3,800	51,192	3,834	101%
平成24年度	3,850	34,123	3,853	100%
平成25年度	3,850	34,534	3,784	98%
平成26年度	3,850	31,145	4,436	115%
平成27年度	4,420	25,092	4,328	98%
平成28年度	4,720	24,312	5,011	106%
平成29年度	5,050	29,151	5,044	100%
平成30年度	6,300	27,580	6,464	103%
令和元年度	6,140	28,310	6,647	108%
令和2年度	6,500	29,848	6,744	104%
令和3年度	6,510	28,426	6,450	99%
令和4年度 (※)	6,980	24,841	—	—

※ 自衛官候補生及び一般曹候補生の4年度応募者数については、令和5年1月15日現在

自衛官等の募集を行う広報官

1 広報官とは

全国合計50か所に設置されている自衛隊地方協力本部において募集広報等の業務を行う隊員である。陸・海・空自衛隊で部隊勤務経験のある隊員が任命され、主に自衛官の募集に関する業務やイベント等の広報活動を行っており、募集対象者に対し部隊勤務経験を伝えることで、職業としての自衛官の魅力の発信等を行っている。

具体的には、学校等における職業説明会、創立記念行事・音楽隊演奏・航空祭・体験航海・部隊行事等への参加者に対する募集広報、各種採用試験業務など様々な業務を行っている。

2 広報官が行う募集業務の流れ



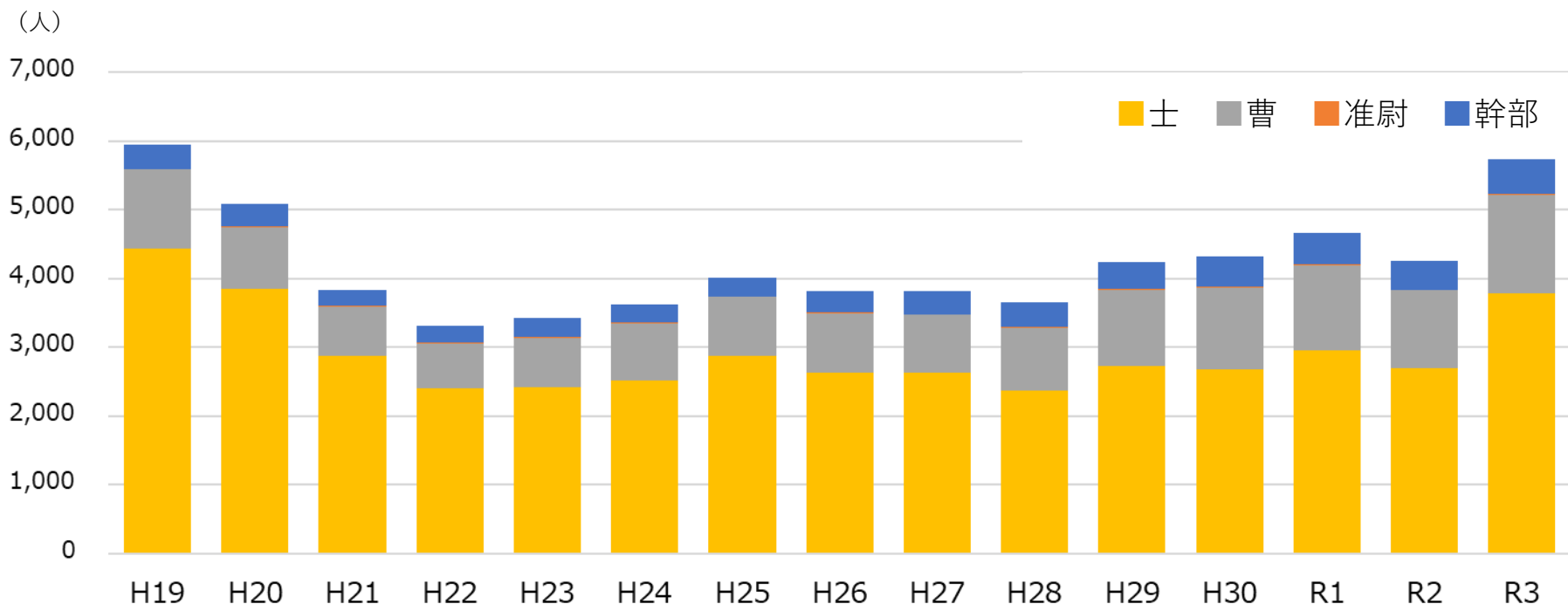
3 自衛官等の募集種目

①自衛官候補生、②一般曹候補生、③航空学生、④一般幹部候補生、⑤防衛大学校学生、防衛医科大学校学生（⑥医学科、⑦看護学科（自衛官候補看護学生））、⑧高等工科学校生徒、その他（⑨医科・歯科幹部、⑩公募幹部、⑪歯科・薬剤科幹部候補生、⑫技術曹、⑬貸費学生）の合計13種目及び予備自衛官補

年度別中途退職者数の推移

近年、中途退職者数は4 000人前後で推移しており、令和3年度の中途退職者数は直近15年で2番目に多い人数となった。

年度別中途退職者数



幹部	366	326	227	242	276	250	286	314	331	357	386	447	447	417	511
准尉	3	7	8	10	5	11	4	11	12	8	13	17	13	10	15
曹	1,143	894	727	664	716	845	857	861	844	920	1,119	1,180	1,250	1,127	1,425
士	4,440	3,857	2,867	2,396	2,424	2,509	2,874	2,637	2,626	2,366	2,722	2,685	2,949	2,703	3,791
計	5,952	5,084	3,829	3,312	3,421	3,615	4,021	3,823	3,813	3,651	4,240	4,329	4,659	4,257	5,742

※ 隊員が中途退職に至った経緯等について、より詳細に把握することが必要

自衛官定数と実員の乖離

- 任務遂行に必要な自衛官の人員数（定数）と、実際に配置する自衛官の予算上の人員数（実員）との乖離が令和4年度末で約1万4千人。

